

オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する
著作権マネジメント・プロジェクト(SCPJ3)
(筑波大学・千葉大学・東京工業大学・神戸大学)

オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに 関する著作権マネジメント・プロジェクト(SCPJ プロジェクト3)

筑波大学附属図書館情報管理課 真中孝行
scpj@tulips.tsukuba.ac.jp

本日の予定

- 本プロジェクトについて
- SCPJの歩み
- SCPJデータベースの現況
- 平成24年度の活動(概要)
- 第3期(平成22-24年度)の活動
- 今後の課題

SCPJプロジェクトとは

- オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト
 - SCPJ=Society Copyright Policies in Japan
 - 「機関リポジトリのコンテンツ拡充及び日本の学術情報流通の基礎データを提供するために、「学協会著作権ポリシーデータベース」(以下、SCPJデータベース)のデータ更新及び機能拡充を行うとともに、関連団体及び学協会との情報共有・意見交換を行い、オープンアクセス(OA)への理解を促進し、各学協会のOA方針検討を支援する。」

目的を簡単に言うと・・・

学術雑誌に掲載さ
れた論文の、機関リ
ポジトリへの登録を
促進する

SCPJの歩み

- 2005年度 国立大学図書館協会学術情報委員会小委員会デジタルコンテンツ・プロジェクトによるアンケート調査(「著作権の取り扱い等に関するアンケート調査」)
- 2006年度 CSI委託事業(領域2)「著作権ポリシー共有機能」をテーマとしてプロジェクト開始(筑波、千葉、神戸大の連携分担)
- 2007年度「国内学協会等の著作権ポリシー共有・公開プロジェクト」
- 2008～2009年度「オープン・アクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト(SCPJプロジェクト2)」(筑波大学, 北海道大学, 千葉大学, 東京工業大学, 金沢大学, 大阪大学, 神戸大学)
- 2010～2012年度(領域3)「オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト(SCPJプロジェクト3)」

SCPJデータベースの現況

登録件数

2,607学協会

3,146誌

(2013年5月末)

登録件数

■ 158

■ 1372



Green...査読前・後とも可
 Blue.....査読後のみ可
 Yellow...査読前のみ可
 White...不可
 Gray ...検討中,不明

平成24年度の活動(概要)

1. SCPJデータベースのデータ更新
 1. Gray学協会の悉皆調査・更新
 2. 未登録学会・学会誌の調査・登録
2. SCPJワークショップの開催
3. 機関リポジトリ担当者との情報共有・意見交換
4. 講師派遣
5. SCPJデータベースの機能拡張

第3期(平成22-24年度)の活動

- 国内学協会OA方針の悉皆調査(Webページ、電子メール、郵送)
- DRF新任担当者研修等、多数の研修会へ講師派遣
- 学協会関係者との意見交換
- SCPJに関する論文執筆、報告
- OA方針策定のためのリーフレット作成
- SCPJワークショップの開催
- SCPJデータベースの機能拡充
- SCPJスタッフ(学協会、機関リポジトリ担当者)の募集

国内学協会OA方針の悉皆調査の推移

- 平成23年 5月末現在
 - 2,465学協会
 - Green, Blue 25.1%
- 平成24年 5月末現在
 - 2,542学協会
 - Green, Blue 31.6%
- 平成25年 5月末現在
 - 2,607学協会
 - Green, Blue 37.4%

DRF新任担当者研修等への講師派遣

- 講師派遣の例
 - 機関リポジトリ新任担当者研修
 - 「近畿における機関リポジトリコミュニティ形成の支援」第3回連続研修会
 - 愛媛大学図書館学術講演会
- 等

学協会関係者との意見交換

- 意見交換

- SPARC Japanパートナー学会
- (社)日本アレルギー学会
- (社)応用物理学会
- 中西印刷株式会社NACOS学会事務センター

等

その他、学協会事務担当者との日常の対話

SCPJに関する論文執筆、報告

- 2011年
 - 大澤類里佐、中山知士. 「SCPJプロジェクトの活動と課題：学協会著作権ポリシーデータベースの構築を中心に」 大学図書館研究、No.93, p.36-41.
- 2012年
 - 内島秀樹、真中孝行. 「SCPJプロジェクトの現在と展望：セルフアーカイビングによるオープンアクセス推進のために」 専門図書館、No.254, p.14-18
- 2010年以前にも多数執筆

OA方針策定のためのリーフレット作成

- 国立大学図書館協会学術情報委員会と連携し、国内2,462学協会にSCPJ調査協力依頼及び機関リポジトリ広報資料(リーフレット)を郵送。
- リーフレットはSCPJサイトで公開。

学協会のみさまへ

機関リポジトリとは？

機関リポジトリとは、研究者が自身の著作論文をインターネット公開する、所属機関によって構築されたウェブサイトです。以下一例で、国立大学だけで、76の機関リポジトリが構築されています。

学術研究の成果は人類の共有資産です。研究者が自らの学術的知見を広く世界に公開することを支援するために、平成23年2月現在、国内では196、海外では1,851の大学・研究機関等こうしたウェブサイトが整備されています。

学協会にとっての機関リポジトリ

機関リポジトリの読者は、大学・研究機関の所属研究者以外に、産業界や一般市民層にも広がっており、Google等のインターネット検索からのアクセスが9割を超えます。

学協会としての社会貢献のために、また、学協会刊行の論文誌の購読者に留まらず、自らの学術的知見を世界に公表したいという学協会員の希望に応じ、海外では62%の主要ジャーナル(商業出版社刊行のもの含む)が学協会員が著作論文を自分でウェブ公開する権利をみとめています(英国ノッティンガム大学調べ)。

◀アメリカ物理学会の刊行誌に発表した論文を、著者自身が大学ウェブサイトで公開している例

刊行例の条件に従い、初出情報と著作権を明示

学協会のみさまへ

著作権ポリシーの公開と共有

—著作権ポリシー調査にご協力ください—

権利出版社が学術出版の多くを占める海外と異なり、日本の学術出版においては学協会が重要な役割を担っており、多くの学術論文が学協会誌に掲載されています。それでは、研究者が自らの執筆した学術論文を利用したいとき、その論文の著作権はどのように権利するのでしょうか？

著作権ポリシーを明示する必要性

急速なインターネットの普及とIT技術の進歩により、学術情報の流通は大きく変化しています。今や研究者にとって論文をネット上で複製・入手することは日常茶飯事といってよいでしょう。また、自らの研究成果を広く世界に発信したいという研究者の要望に代えて、大学等の国内外の研究機関は、インターネット上の電子書籍「機関リポジトリ」の構築を進めています。(2011年2月現在、国内196、海外1,851)

学術論文をインターネット上で公開するためには、著作権者に複製および公衆送信権の利用許可を得る必要があります。このような流れに付随し、一部の学協会では、あらかじめ学協会誌に掲載された論文について著作権の方針(ポリシー)を定め、そのポリシーの下に随時以外での公開等の利用の是非を決定しています。

学協会著作権ポリシー (Society Copyright Policies in Japan) 調査にご協力ください

研究者や機関リポジトリ担当者は学術論文を機関リポジトリに登録したいと考えた時、毎回、学協会側にその可否を伺いしてきてきました。このような状況はたびたび問い合わせを受ける学協会側にとっても、研究者・各機関の担当者にとっても好ましいものではありません。

そこでSCPJプロジェクト(国立情報学研究所CS委託事業)では、学協会側の著作権ポリシーをお伺いし、調査結果をSCPJデータベースとして公開しています。プロジェクト開始から5年、SCPJデータベースには2,200以上の学協会のデータが登録されており、研究者・リポジトリ担当者が最初に参照するデータベースとなっています。

プロジェクトの趣旨をご理解いただき、著作権ポリシー調査にご協力くださいますようお願いいたします。

お問い合わせは
 筑波大学附属図書館情報管理課リポジトリ担当
 〒305-8577 茨城県つくば市玉正1-1-4
 TEL:029-853-2470 FAX:029-853-6952 MAIL:scpj@ulips.tsukuba.ac.jp

▲SCPJデータベース (http://scpj.ulips.tsukuba.ac.jp)

SCPJ 検索

裏面ではインターネット上での論文公開に係る著作権ポリシー決定までの流れをご紹介します。

<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/info/gakkai.html#onagai>

SCPJデータベースの機能拡充

- APIの実装
- NCIDによる検索
- CiNii Books書誌情報表示
- 学会名鑑参照機能
- Grayを細分化
- ポリシー連絡用Webフォーム
- スタッフ専用機能
 - 学協会、SCPJスタッフ別メニュー

今後の課題

- 学協会のオープンアクセスへの認知度向上
 - 機関リポジトリへのSCPJデータベースを利用した学術雑誌掲載論文の登載率向上
- そのために・・・
- データベースの整備・拡充の日常業務化
 - スタッフの体制
 - 他機関調査ポリシーの集約
 - SCPJの活用によるコンテンツ充実のための広報活動
 - その他のオープンアクセスに関する情報収集・広報活動

SCPJスタッフ募集中！

<http://scpj.tulips.tsukuba.ac.jp/info/librarian.html> にアクセス！